

外から見ていたおおいそ学園、内から見たおおいそ学園

竹寮寮長 澁谷 隆治

私は令和 5 年度よりおおいそ学園に配属となり、今年が 2 年目になります。それ以前は、4 か所の児童相談所（以下、児相）を延べ 13 年間勤務し、いずれも児童福祉司（いわゆるケースワーカー）でした。

児童福祉司の 13 年間、私はおおいそ学園および他の児童自立支援施設に入所する児童を絶え間なく担当していたので、実際の勤務経験はないものの、おおいそ学園について他の児童福祉司よりもよく知っている、十分理解していると勝手に思っていました。

しかし、今回おおいそ学園に配属されたことで、私はおおいそ学園、ひいては児童自立支援施設のことを何も知らなかったことに気付かされ、愕然としたものです。

例えば、児童たちは起床から就床まで細かな日課が決まっており、生活のルールも制約があります。それをよく「枠のある生活」と表現され、私も児相の頃は「枠が」「枠を」と、何はともあれ「枠」を連発していたように思います。

但し、実際の生活では枠やルールがありながらも、日々その場の状況に応じて変更せざるを得ない事態は往々にしてあります。また、そのことを発端に児童と職員、児童間での軋轢が生じ、大きなトラブルに発展することも少なくありません。

つまり、非行傾向で攻撃的な児童、発達障害を有し日課に拘る児童、知的障害を有し日課を拒否する児童、このような特性がある児童たちが、同じ空間で同じ日課を同じ時間内で行うことの大変さ、それに対応する職員の労力は、「外」からでみているだけでは想像できない、「内」からみることで初めて実感できるものだと痛感しています。

そして、この状況を正確に児童相談所に伝えて理解してもらい、児童の支援に結び付けていけるよう、児童相談所と連携を図っていかないといけないと日々感じている今日この頃です。

最後に、良いこともあります。児童と関わる時間が多くなればなるほど、児童の成長を手取るように感じるができるようになります。些細な出来事から、児童の優しさや逞しさ、悩んでいる姿やそれを乗り越えた姿を目の当たりにできることは、「内」から支援する者の醍醐味と言っても過言ではないでしょう。我々職員も日々悩みながらも職務に精進していきたいと思えます。



行事特集①～サマーキャンプ～

桂寮

今回のサマーキャンプは、ちがさき柳島キャンプ場をお借りして実施しました。昼食の際に班を三つに分けましたが、お肉だけ焼く班、野菜とお肉をバランス良く焼く班、焼きうどんから焼く班など各班によって BBQ の進め方が違っていったのが印象的でした。BBQ 後には海水浴を楽しみ、寮に戻ってからは冷やし蕎麦、かき氷を食べてお腹一杯のサマーキャンプとなりました。(桂寮 山岸)



竹寮

今年度竹寮は、昨年同様表丹沢方面へ行きました。川遊びでは、児童も大人も全員が水浸しになりともに楽しい時間を過ごすことができました。BBQ では、児童が役割を持ち、職員と固まり肉のそぎ切りに挑戦しました。そのほか率先し行動してくれる姿勢や、みんなが楽しめるよう気を遣う児童など、児童の新しい一面を発見するきっかけとなったと思います。(竹寮 服部)

梅寮

7/25～26 で神奈川県山北町に位置する大石キャンプ場に行ってきました。現地では川遊び、バーベキュー、スイカ割り、花火をして過ごしました。このキャンプでリラックスして過ごすことで、学園で生活している顔とは違う表情で楽しめている様子が伺えました。1泊2日のサマーキャンプは、談笑しながらみんなお腹いっぱい食べ、充実した2日間となりました。(梅寮 玉置)



行事特集②～野球部 活動紹介～

野球部は例年、1月中旬～8月頃まで活動しており、どのクラブ活動よりも長期的に活動しています。すでに野球部としての活動は終了していますが、今年も関東少年野球大会、県児童福祉施設野球大会と2大会に参加しました。結果は、関東少年野球大会は初戦敗退、県児童福祉施設野球大会は4位という成績でしたが、野球部発足当初に比べれば、一人ひとりがルールを覚えながら技術向上に向けて努力し、野球の試合ができるレベルにまで達することができました。大半が初心者なので、大変なことはありましたが、みんなが楽しく少しでも野球を好きになってもらえるよう活動してきました。そのうえで結果がついてくるよう今後も活動していきたいと思っています。(桂寮 田中)



～水泳部 活動紹介～

6月19日プール開き式が行われ、水泳部の活動が始まりました。今年度初めて入ったプールでは顔をつけられない児童もいて、水泳のレベルは様々でした。8月に入ると格段に泳げるようになり、元々泳げていた児童たちは新しい泳法に挑戦していました。今年度、1つ目の大会の県大会では金メダル8個、銀メダル5個、銅メダル1個と好成績を残すことができました。関東大会でも県大会での好成績の勢いで臨みましたが、ハイレベルな選手が多く、結果は振るわず残念な結果になってしまいました。それでも児童たちは立派な会場で最後まで泳ぎ切り、成長や達成感を感じ、笑顔も見られていました。水泳部の経験を今後の生活で経験を生かして欲しいと思います。(桂寮 米澤)



～高等部 活動紹介～

「高等部の活動紹介（インターンシップ）について」

中学 3 年生は「職場体験学習（インターンシップ）」の一環として高等部で一週間活動します。活動内容は園内の環境美化が中心となります。土曜日に行っている寮作業との大きな違いは刈払機や耕運機、ハンマーナイフ（草刈り機）といった道具を扱う所です。初めて触れる道具に尻込みする児童もわからないことを先輩に聞きながら上達していきます。慣れてきた頃にインターンシップ終了となりますが、普段生活を共にしない高等部生との時間はちょっと緊張感のある時間となり社会に出る前の礼儀やマナーも学べる機会となっています。（高等部 鶴岡）



～医務課だよ！～

今年は梅雨らしい梅雨もなく、7月の初めから気温の高い日が続いていました。夏休みに入り児童達は、真っ黒に日焼けして野球や水泳の練習を頑張っていました。例年はセミの合唱が聞けるのですが、今年はそれに加えてシオカラトンボが児童の頭の上をたくさん飛んでいました。今年は例年以上に暑いため、特に熱中症に注意しました。夏休みに多くの経験や学びをして、秋に向けて心身ともに成長してほしいと思います。

（看護係長 佐山）



【主な大会結果発表】

8/6 県野球大会 第4位

8/19 県水泳大会 1位種目

200m メドレーリレー, 100m 自由形, 50m 自由形, 50m バタフライ, 25m バタフライ, 50m 背泳ぎ, 100m 平泳ぎ, 25m ビート板バタ足(小学生),